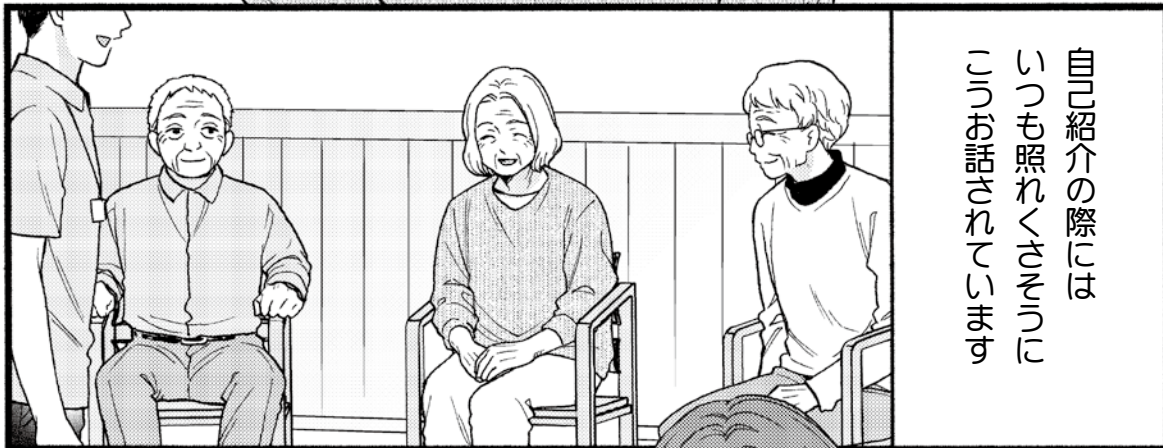


「想いがつなぐ一枚のカード」



ここに来て
リハビリするのが
一番の楽しみです

Iさんは
10年程前から
デイサービスを
利用されている
ご利用者様です

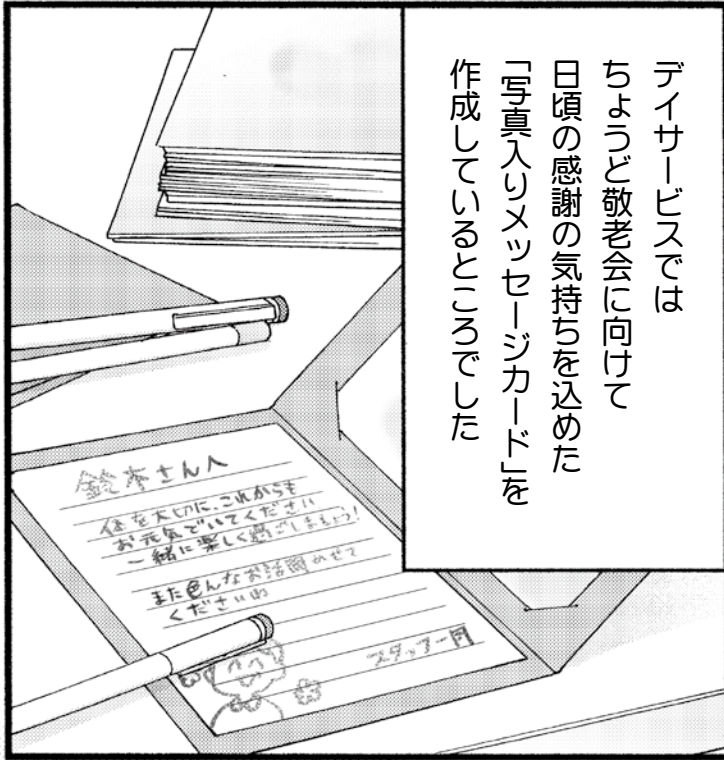


自己紹介の際には
いつも照ねくねと
「じいお話を聞いています



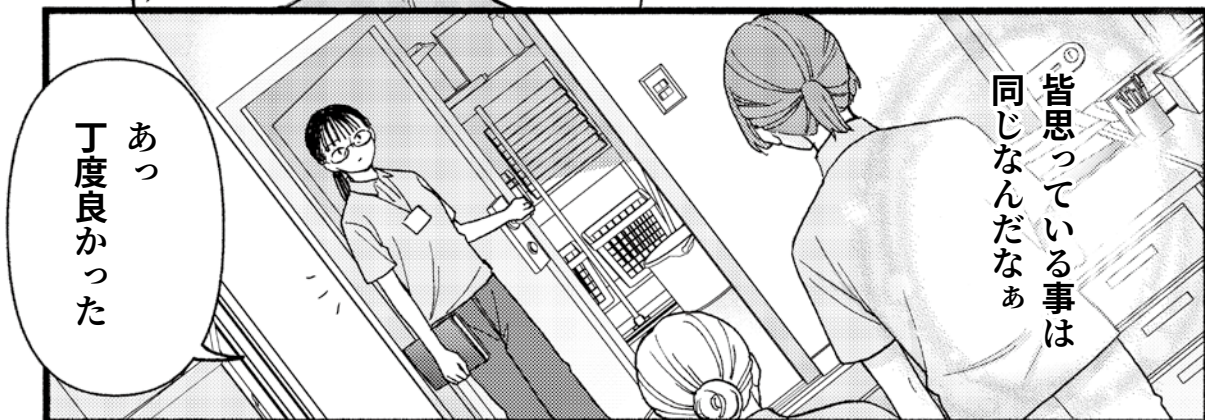
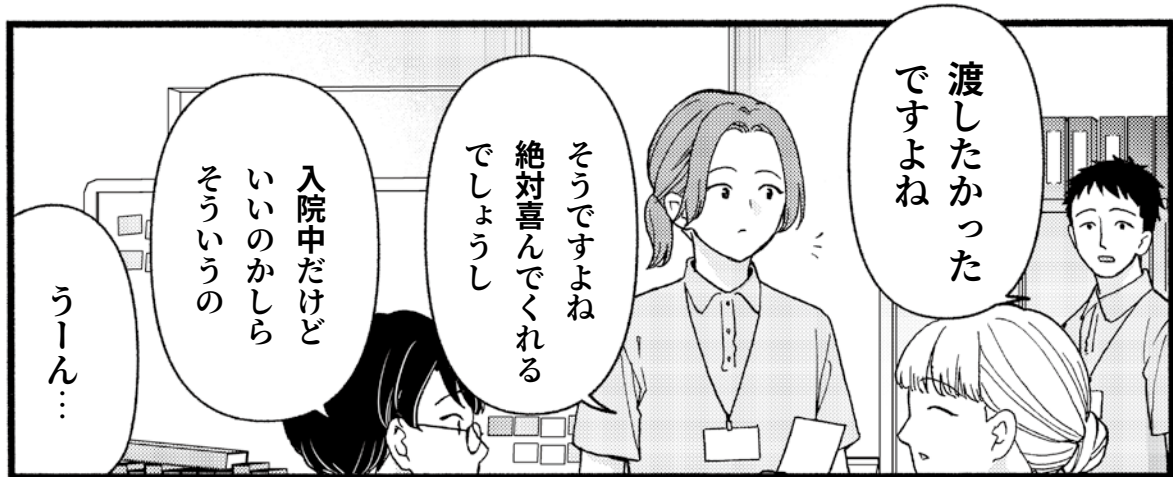
そんなIさんが
夏のある日
体調を崩されて

入院する事に
なっていました

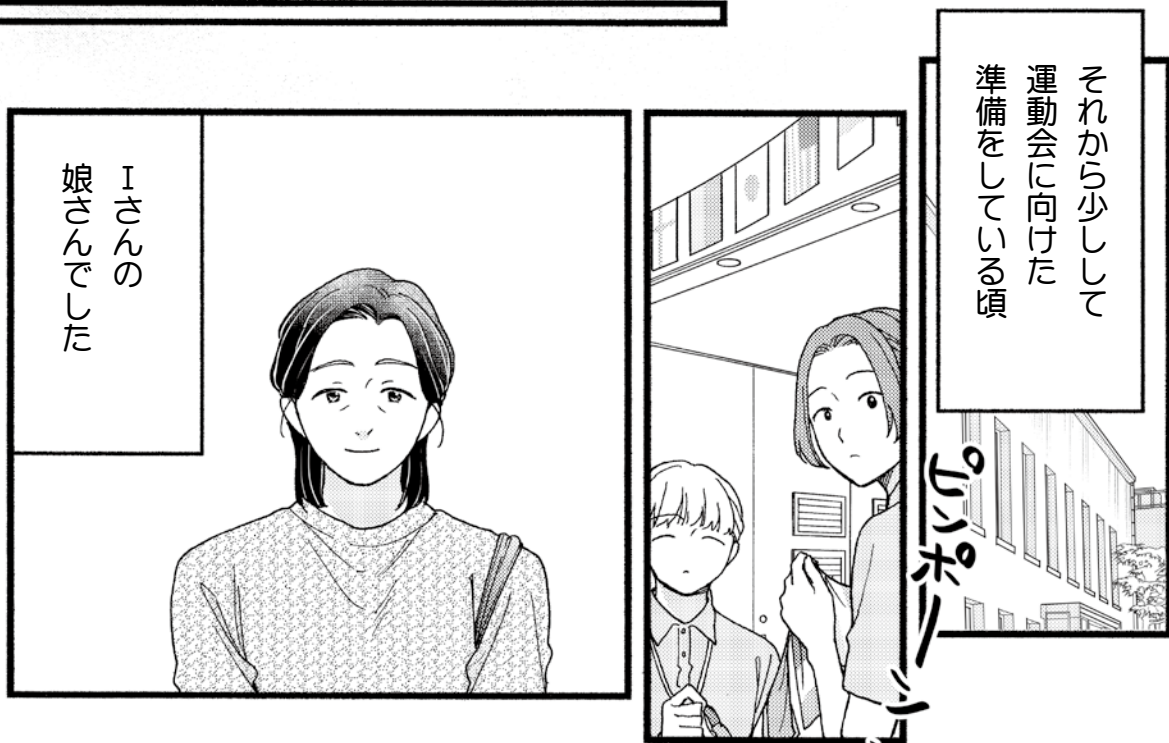


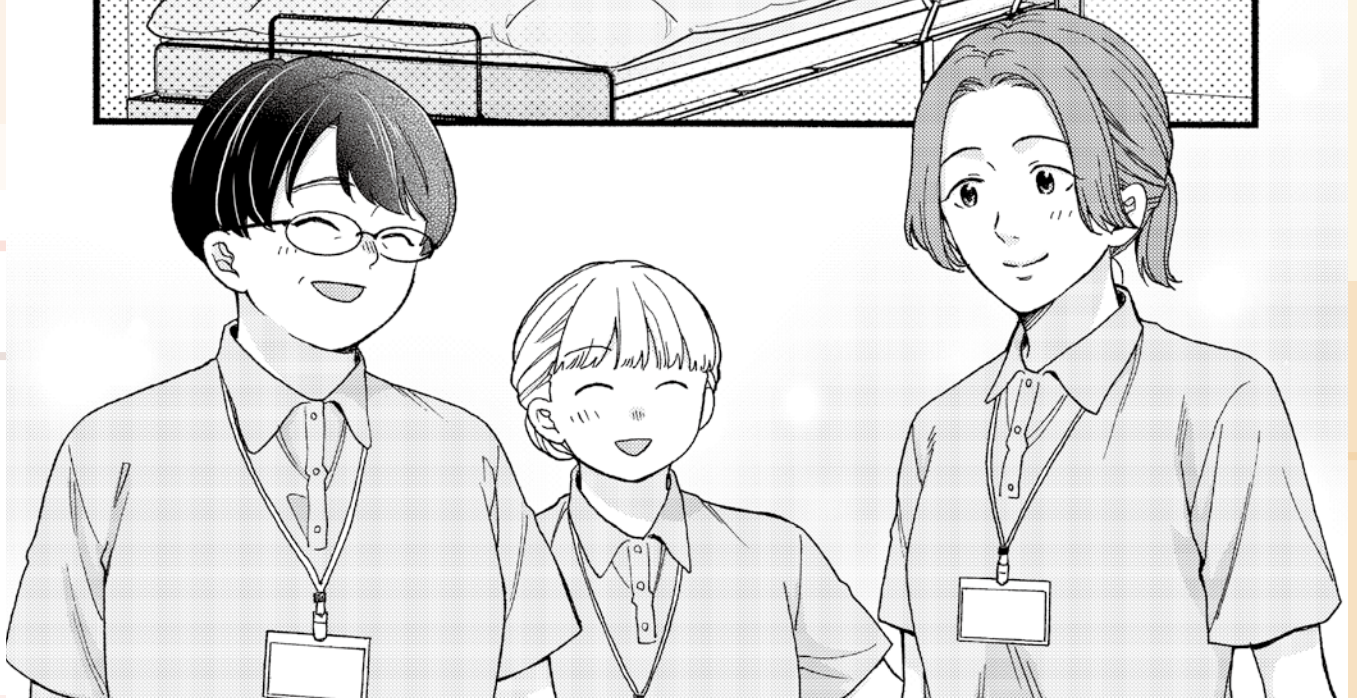
デイサービスでは
ちようど敬老会に向けて
日頃の感謝の気持ちを込めた
「写真入りメッセージカード」を
作成しているところでした

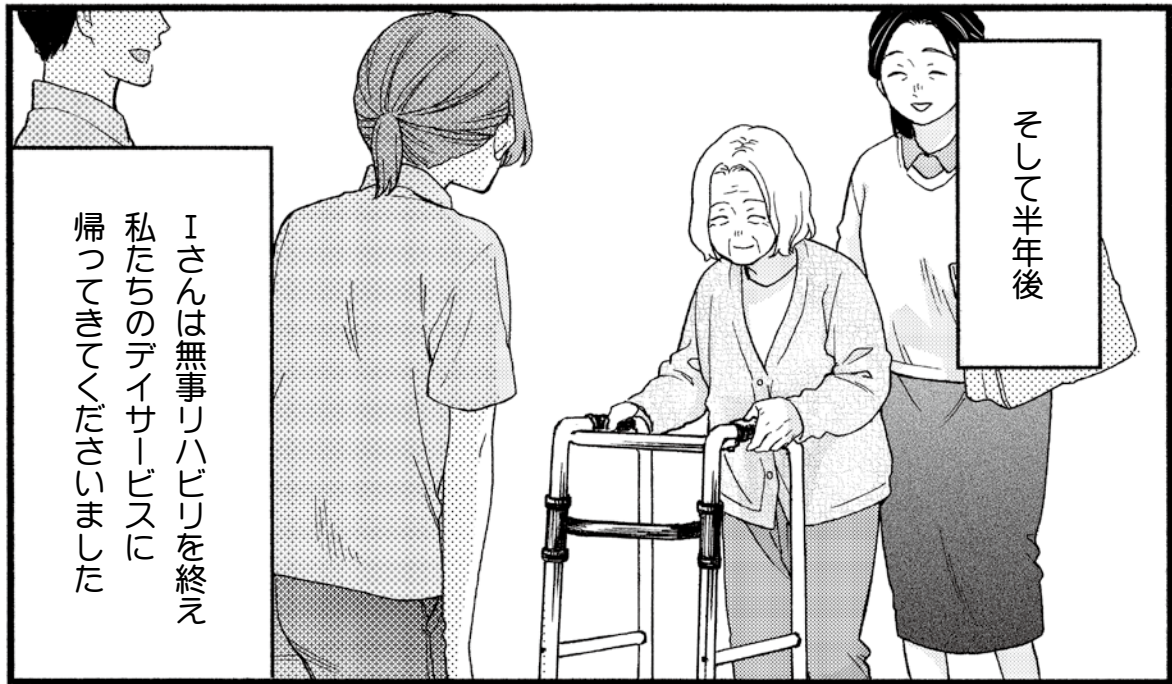




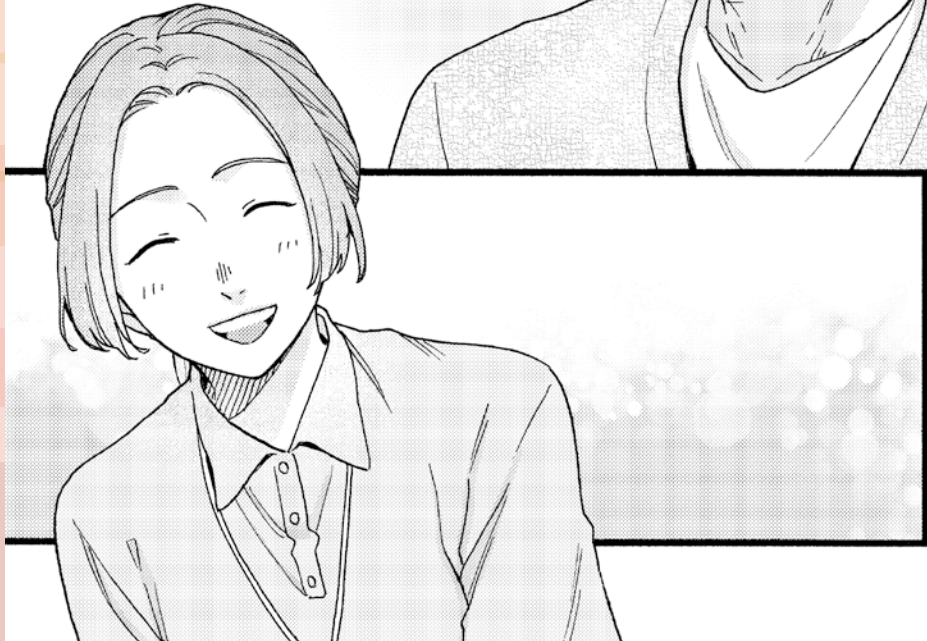


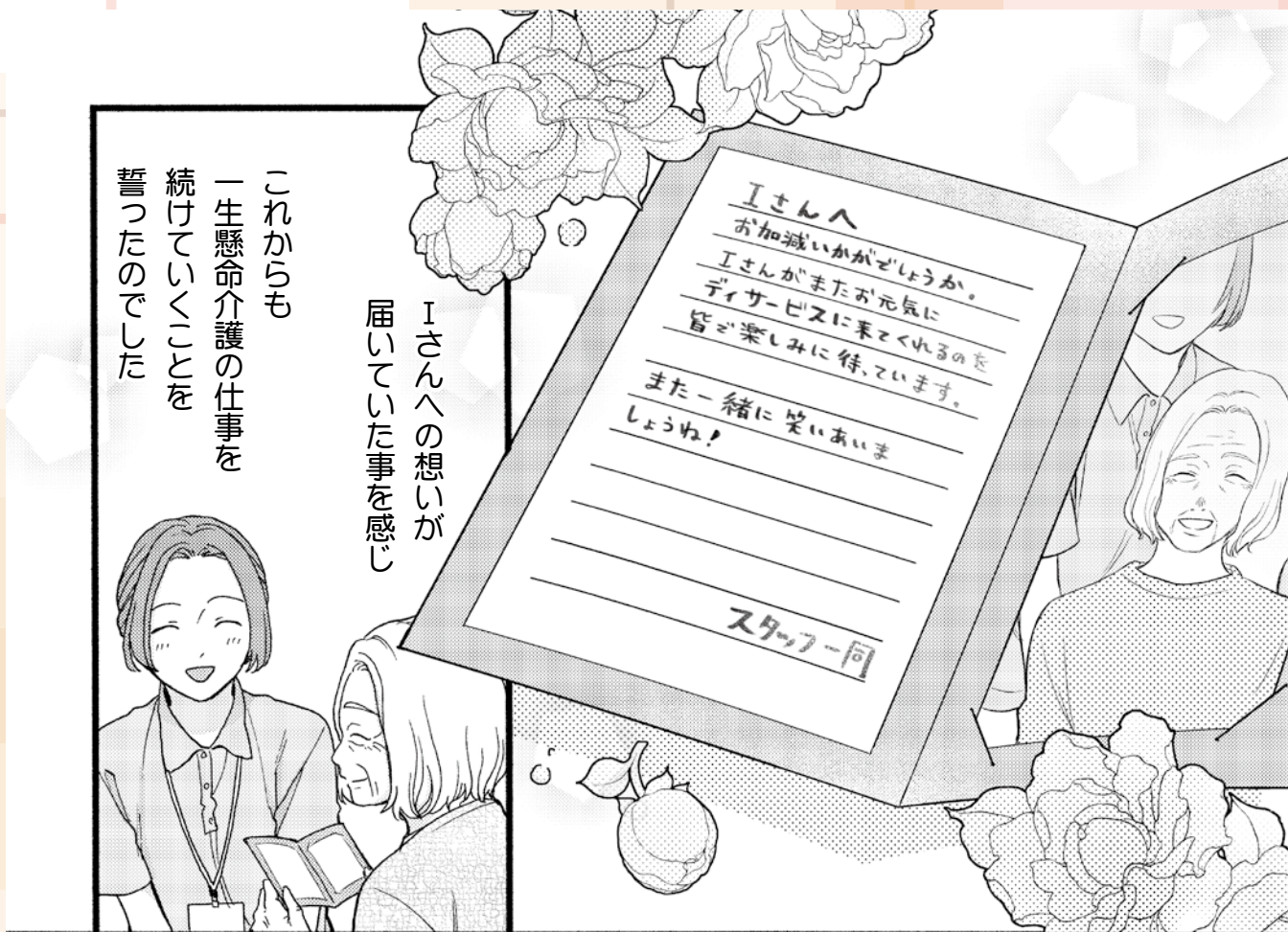






ここに来て
リハビリするのが
一番の楽しみ
なんだから





これからも
一生懸命介護の仕事を
続けていくことを
誓ったのでした

Iさんへの想いが
届いていた事を感じ

やまなし介護感動ストーリー大賞 グランプリ作品

「想いがつなぐ一枚のカード」

工藤 亜沙実さん

Iさんは、10年程前からデイサービスを利用されているご利用者様です。自己紹介の際にはいつも照れくさそうに「こうお話されています。」「ここに来てリハビリするのが一番の楽しみです。」「そんなIさんが夏のある日、体調を崩されて入院する事になってしまいました。デイサービスではちようど、敬老会に向けて、日頃の感謝の気持ちを込めた「写真入りメッセージカード」を作成しているところでした。私は自己紹介の時に照れながら笑っているIさんの写真を見つけ、「Iさんにも渡したかったな…」と写真を眺めながら呟きました。すると、周りにいたスタッフの一人が「Iさんにも渡したかったですよね。」「と同じように言いました。それをきっかけに、他のスタッフも「そうですよね。」「管理者に聞いてみましょう。」「と声をあげました。その時私は心の中で「ああ、皆思っている事は同じなんだな」と感じ嬉しくなりました。ちようどそこに管理者が戻ってきたので「敬

老会のメッセージカードをIさんにも作ってお渡ししたいのですが良いですか?」と相談しました。管理者は笑顔で「うんうん。ご家族には私が届けるから、ぜひ作ってあげて。」「と答えてくれました。数日後の朝礼で管理者から「Iさんのご家族がとても喜んでくださって、スタッフの皆様によろしくお伝えください」と伝言を預かりました。」「と報告してくれました。その瞬間、スタッフ全員が自然と笑顔が広がりました。運動会に向けた準備をしている頃玄関のチャイムが鳴りました。娘さんでした。「母、頂いたメッセージカードを枕元に置いてどこ行くにも持って歩いているんですって。ここに戻ることを目標にリハビリを頑張っています。」「私はその言葉を聞いて「Iさんへの想いが届いていた事を続けていくこと」を誓いました。そして半年後Iさんは無事リハビリを終え私たちのデイサービスに帰ってきてくださいました。